

西部五大学連携単位互換科目一覧

大学名	No.	窓口	電話番号
九州大学	No.1~No.23 (23)	学務部学務企画課 企画課室係	092-802-5814
西南学院大学	No.24~No.32 (9)	教務部教務課	092-823-3273
福岡大学	No.33~No.70 (38)	教務部教務課	092-871-0631
中村学園大学	No.71~No.88 (18)	教務部学務支援課	092-851-4742
福岡歯科大学	No.89 (1)	学務課教務係	092-801-0411

()は各大学の開講科目数を示す。

対象者	履修条件	受け入れ可能人数	単位	開講形態 集中・土日開講等	申込締め切り等	授業開始日	試験日
1	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship 五十嵐 伸吾 高田 仁	学務部学務企画課 企画課室係	20人程度	2	前期前半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	4月14日	期末試験は実施しない
2	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス アイデア・ラボ I Idea Lab I 五十嵐 伸吾	学務部学務企画課 企画課室係	20人程度	2	前期後半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	6月16日	期末試験は実施しない
3	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) Fukuoka Growth Next ベンチャー・ファイナンス Venture Finance 玉置 浩伸	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	2	前期集中 日程未定	未定	未定
4	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス ニュービジネス・クリエーション ビジネス・プランニング New Business Creation -Business Planning- 杉本 将隆	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	1	7月4日(日)10:00-17:00 7月11日(日)10:00-17:00	6月末	7月4日 期末試験は実施しない
5	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 未定 企業と創るアイデアソン・ハッカソン演習 Co-creation Practice with Industry on Ideathon / Hackathon 金子 晃介	学務部学務企画課 企画課室係	20人程度	1	6月26日(土)1限~4限 7月7日(水)4限~5限 7月17日(土)1限~2限	6月17日	6月26日(土) 期末試験は実施しない
6	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス アントレプレナーシップ入門 Introduction to Entrepreneurship 五十嵐 伸吾 高田 仁	学務部学務企画課 企画課室係	20人程度	2	後期前半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	10月6日	期末試験は実施しない
7	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス Global Seminar(English) Global Seminar(English) 五十嵐 伸吾	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	1	後期集中 日程未定	未定	未定
8	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) Fukuoka Growth Next リーンスタートアップ演習 I -デザイン・プロセス・デザイン思考+プロトタイプ- Lean Startup -Design Process: Design Thinking+P rototyping- 五十嵐 伸吾 平井 康之	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	2	夏季集中 日程未定	未定	未定
9	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) Fukuoka Growth Next リーンスタートアップ演習 II -デザイン・プロセス・デザイン思考+プロトタイプ- Lean Startup -Design Process: Design Thinking+P rototyping- 五十嵐 伸吾 平井 康之	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	2	夏季集中 日程未定	未定	未定
10	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) Fukuoka Growth Next リーンスタートアップ演習(特論) -デザイン・プロセス・デザイン思考+プロトタイプ- Advanced Lecture in Lean Startup -Design Process: Design Thinking+P rototyping- 五十嵐 伸吾 平井 康之	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	4	夏季集中 日程未定	未定	未定
11	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) Fukuoka Growth Next アントレプレナーシップ・組織論応用 Applied Entrepreneurship Organization 黒木 正樹	学務部学務企画課 企画課室係	5人程度	1	11月13日 13:00~16:20 11月14日 10:50~16:20 11月27日 13:00~16:20 11月28日 10:50~16:20	11月初旬	11月13日 期末試験は実施しない
12	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス or オンライン テクノロジー・マーケティング・ゲーム Technology Marketing Game 山田 裕美	学務部学務企画課 企画課室係	4~8人	2	年に3回開講 ①前期 春学期 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10) ②後期 秋学期 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	①4月初旬予定 ②5月中旬予定 ③9月中旬予定	①4月14日 ②6月16日 ③10月6日 期末試験は実施しない
13	ロバート・フアン・アントレプレナーシップ・センター (GREC) 伊都キャンパス or オンライン Technology Marketing Game (English) Technology Marketing Game (English) 山田 裕美	学務部学務企画課 企画課室係	4~8人	2	後期 冬学期 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10) ※他校と同時開催のため多少の開始時間変更あり。	11月中予定	12月8日 期末試験は実施しない
14	芸術工学部 大橋キャンパス 環境総合プロジェクト Environmental Integrated Project O加藤悠希 環境総合教員	学務部学務企画課 企画課室係	特になし	4	前期水曜3~5限	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること) 期末試験は実施しない。講評会での発表によって成績をつける。
15	芸術工学部 大橋キャンパス 環境文化財論 Heritage Studies 福島 綾子	学務部学務企画課 企画課室係	特になし	2	後期木曜3限 (ZOOMで実施)	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること) 期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。

16	芸術工 学	大機キ ンバス	ヘリテージ・マネジメント	Heritage Management	福島 駿子	近現代に世界各地でつくられた文化財に関する意匠や象徴、それらが制定された背景をレビューし、議論をおこなう。History of modern heritage conservation movement will be discussed. Through reviewing several international charters on heritage conservation enacted in modern and contemporary periods, how international efforts have been consolidated and developed will be discussed.	修士1年 生以上	This course may be offered in English depending on the language ability of students enrolled. Reading materials and assignments will be provided in English. 英語で授業をおこなう可能性あり。英語のリスニング能力、英語読解能力が必要。	特になし	2	前期水曜3限 (ZOOMで実施)	4月2日	未定(詳細は九州大 学芸術工 学学部学 務課教務係 に確認す ること)	期末試験は実施しない。 レポートによって成績を つける。
17	地球社会 総合科学 部	伊都キ ンバス	地球社会フィールド調査法	Global Society Field Work Methods	オムニバス形式	調査計画の立案と実施方法、資料(史料、試料)・文献収集、実験・社会調査データ収集、調査研究上の倫理、調査結果の社会的還元方法、リスクマネジメントなど、様々なフィールドで調査するための基本を講義する。	学部3・4 年生、修 士課程学 生	無し	10人	1	夏学期(6/10~ 8/10) 毎週水曜日 4限目(14:50-16:20)	5月31日	6月10日	出席とレポートにより評 価する。
18	基幹教育 院(農学 部)	福岡演 習林(森 林)	森林科学入門 (里山林コース)	Introduction to Forest Science (Satoyama Forest Course)	○榎木 勉 ○菱 拓雄 ○笠原玉青	森林での観察や観測など実体験を通じて得られた情報をもとにグループで議論することで森林科学の基礎を学ぶとともに、課題設定・解決・評価のプロセスから科学的思考の訓練を行います。本コースでは、福岡市近郊の里山林を対象にします。比較的身近にある森林から様々なことを学ぶことができます。	1・2年生 (学部は 問いませ ん)	森林での実習を履かず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害被害保険(学研災)に加入 のこと	3名程度	2	集中(3泊4日)	6月12日	8月下旬 の4日間	なし
19	基幹教育 院(農学 部)	宮崎演 習林(森 林)	森林科学入門 (山岳森林コース)	Introduction to Forest Science (Mountain Forest Course)	○久米 朋彦 ○山本 智 ○市橋隆自	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。山岳森林コースでは、宮崎演習林にて「山岳地の森林の成り立ちや構造」をテーマとします。	1・2年生 (学部は 問いませ ん)	森林での実習を履かず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害被害保険(学研災)に加入 のこと	4名以内	2	集中(4泊5日)	6月12日	8月下旬 の5日間	なし
20	基幹教育 院(農学 部)	北海道演 習林(足 寄)	森林科学入門 (北方林コース)	Introduction to Forest Science (Northern Forest Course)	○内海泰弘 ○智和正明 ○田代重明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。北方林コースでは、北海道演習林や釧路市などで「十勝の多様な森林と土地利用」をテーマとします。	1・2年生 (学部は 問いませ ん)	森林での実習を履かず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生 現地集合ができる学生 学生教育研究災害被害保険(学研災)に加入 のこと	3名	2	集中(4泊5日)	6月12日	8月下旬 の5日間	なし
21	農学部	農学部附 属農場	体験的農業生産学入門	Introduction to agricultural science	酒井 かおり	本授業では、作物(イネや園芸作物)や家畜(牛やニトリ)などを対象に農業生産の実験を体験すると共に、その基礎となる理論、農業生産と環境との関係や食料の安全性などについて学習し、社会における知識の役割を学ぶ。実習作業における衛生工夫、対象作物や家畜への配慮、指導にあたる教職員や受講生相互の交流を通じ、実感としての知識を身につける。さらに、農業の持つ地域性と伝統や文化形成の関わりについて学習し、幅広く知識を身につけることの楽しさと重要性を学ぶ。夏休み期間中に農学部附属農場(福岡市西区元岡および福岡県糟屋郡篠栗町)において、3日間の集中実習・講義を実施する。	学部1・2 年生	野外での実習に対応できる事	5人	1	後期 集中(終日) (9月15日~9月17 日)	7月中旬	9月15日	期末試験は実施しない。
22	先導物質 化学研究 所	筑紫キ ンバス	分子の科学	Molecular science	代表教員: 工藤 真二 担当教員: 宮脇 仁、新藤 亮、伊 聖美、岡田 重人、友 岡 克彦、菊池 裕嗣、横山 士高、林 潤一郎、関根 洋一、村山 光宏、アルフレッド 健、齊藤 光、狩野 有宏、高 橋 良彰、奥村 泰志、藤田 克彦、岩田 慶幸、中林 康 治、猪石 篤、高田 晃彦、鳥 越 尊、関根 康平、浅野 洋作	物質の究極の構成要素である分子の性質、化学反応性や合成法など分子科学の現状を、3日間の集中講義形式で紹介し、1日目は、二人の講師が分子科学の最先端の研究成果をそれぞれ90分ずつ分りやすく講義します。2日目は、受講した学生が実際に研究室に入り、先端設備に触れて動かし、先端分子科学の発展の内容を体験的に学びます。本講義では、無機化学から有機化学まで様々な専門を有する先導物質化学研究所から一つの研究室を選び実験を行います。	学部1~ 4年生	分子の科学に興味があり、科学実験に意欲的に取り組むことができる学部1、2年生を対象とします。理系、文系は問いません。また、熱意があれば、3、4年生も受講可能です。なお、本科目は実習・実験を伴いますので、学研災付帯学生生活総合保険への加入が必要となります。	37人(予定) ※ 但し、希望者多 数の場合は、本学 学生の履修を優先 します。	2	集中 (2021年9月25日 (水)~9月27日 (金))	未定	8月25日	期末試験は実施しません。
23	先導物質 化学研究 所	筑紫キ ンバス	分子の科学	Molecular science	代表教員: 工藤 真二 担当教員: 宮脇 仁、新藤 亮、伊 聖美、岡田 重人、友 岡 克彦、菊池 裕嗣、横山 士高、林 潤一郎、関根 洋一、村山 光宏、アルフレッド 健、齊藤 光、狩野 有宏、高 橋 良彰、奥村 泰志、藤田 克彦、岩田 慶幸、中林 康 治、猪石 篤、高田 晃彦、鳥 越 尊、関根 康平、浅野 洋作	物質の究極の構成要素である分子の性質、化学反応性や合成法など分子科学の現状を、3日間の集中講義形式で紹介し、1日目は、二人の講師が分子科学の最先端の研究成果をそれぞれ90分ずつ分りやすく講義します。2日目は、受講した学生が実際に研究室に入り、先端設備に触れて動かし、先端分子科学の発展の内容を体験的に学びます。本講義では、無機化学から有機化学まで様々な専門を有する先導物質化学研究所から一つの研究室を選び実験を行います。	学部1~ 4年生	分子の科学に興味があり、科学実験に意欲的に取り組むことができる学部1、2年生を対象とします。理系、文系は問いません。また、熱意があれば、3、4年生も受講可能です。なお、本科目は実習・実験を伴いますので、学研災付帯学生生活総合保険への加入が必要となります。	37人(予定) ※ 但し、希望者多 数の場合は、本学 学生の履修を優先 します。	2	集中 (2021年9月25日 (水)~9月27日 (金))	未定	8月25日	期末試験は実施しません。
24	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		キリスト教1	Christianity 1	M.Manke	教科書を取り上げている課題を受けて、キリスト教の『旧約・新約聖書』の経典を参考に、「宗教・キリスト教の本質」と思われる「信仰」を核として、人間社会に生きるべきの諸課題に対してどんな生き方、信じ方を聖書で提示されているか、ということを取りあげる。	学部1年 生以上	言語に関心があり、聖書を読みたい人の履修を歓迎する	2-3名程度	2	前期週1回 木曜1時限 (9:00~10:30)	3月30日(水)	4月8日(木)	8月5日(木) 1時限 (9:00~10:30)
25	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		比較言語文化論A	Comparative Studies of Language and Culture A	M.Manke	現代の言語社会でだれもが体験する学校での語学教育における翻訳と、翻訳学が対象とする翻訳とは、それぞれ異なる機能を果たしている。本科目では、「言語」、「文化」、「翻訳」とは何かということを中心に、そこから始まり、そして、それぞれの概念を検討したうえで、それらの働きを視野に入れて、世界の翻訳を概観してその進展をたどる。様々な翻訳理論についての理解を深め、その翻訳の正当性、その可能性と限界を批判的に検討する。	学部2年 生以上	ドイツ語を学び、言語文化の比較を学びたい人の履修を歓迎する	10名	2	前期週1回 水曜1時限 (9:00~10:30)	3月30日(水)	4月7日(水)	8月4日(水) 1時限 (9:00~10:30)
26	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		比較言語文化論B	Comparative Studies of Language and Culture B	M.Manke	本科目では、いわゆる「古典」の「カノン」に組み込まれて教育の現場で積極的に紹介される作品の働きと、ある文化社会のありとあらゆる中で作られる美的文章たちの働きとは、必ずしも一致しないため、文学と翻訳を核として、世界の翻訳を概観してその進展をたどる。様々な翻訳理論についての理解を深め、その翻訳の正当性、その可能性と限界を批判的に検討する。	学部2年 生以上	ドイツ語を学び、言語文化の比較を学びたい人の履修を歓迎する	10名	2	後期週1回 水曜1時限 (9:00~10:30)	9月1日(水)	9月22日 (水)	1月26日(水) 1時限 (9:00~10:30)
27	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		経営分析論 I	Corporate Analysis I	原口健太郎	代表的な経営分析手法である財務諸表分析をテーマとして、財務諸表の見方や分析手法を習得し、企業の財政状態や経営成績を定量的に把握する技術を身につけることを到達目標とする。本講義を通じて、単に指標の計算式を暗記するのではなく、その指標が何を「考える」かの構成を目標とする。具体的な習得スキルは下記のとおりである。 ・各種指標を用いた基本的な財務分析能力 ・専門文書を活用した応用的な問題解決能力 また、本講義の内容は、資格取得(日商簿記検定等)にも有益なものであるため、検定試験の範囲と重複する内容を講義中に指示するなどして、意欲ある学生の資格取得を支援する。	学部2年 生以上	日商簿記3級程度の知識があることが望ましいが必須ではない	制限なし	2	前期週1回 月曜2時限 (10:40~12:10)	3月30日(水)	4月12日 (月)	8月2日(月) (10:40~12:10)
28	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		経営分析論 II	Corporate Analysis II	原口健太郎	「経営分析論 I」に引き続き、財務諸表の見方、財務諸表分析手法についてより高度な解説を加えるとともに、ケーススタディーを多く取り入れる。本講義を通じて、単に指標の計算式を暗記するのではなく、その指標が何を「考える」かの構成を目標とする。具体的な習得スキルは下記のとおりである。 ・各種指標を用いた財務分析及び分析結果に基づく仮説構築能力 ・専門文書を活用した応用的な問題解決能力 また、本講義の内容は、資格取得(日商簿記検定等)にも有益なものであるため、検定試験の範囲と重複する内容を講義中に指示するなどして、意欲ある学生の資格取得を支援する。	学部2年 生以上	日商簿記3級程度の知識があることが望ましいが必須ではない	制限なし	2	後期週1回 月曜2時限 (10:40~12:10)	9月1日(水)	9月27日 (月)	1月24日(月) 2時限 (10:40~12:10)
29	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		財務管理論 I	Financial Management I	鄭 義哲	企業の財務活動は、投資家の選択と、その投資をまかなうために、必要な資金の調達、そして利益の配分について大きく分けて2つの講義で、これら企業の財務活動に関する標準的な財務理論の基本的な考え方と分析方法について学ぶことを目標とする。	学部2年 生以上	特になし	10名程度	2	前期週1回 水曜2時限 (11:10~12:40)	3月30日(水)	4月7日(水)	8月4日(水) 2時限 (11:10~12:40)
30	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		財務管理論 II	Financial Management II	鄭 義哲	ファイナンスは通常、投資と企業財務の2つに分かれています。お金の流れを企業の観点から見ると、財務管理論 I(企業財務)はコーポレート・ファイナンスとして、投資家の観点から見るのが本講義です。本講義では、証券投資に関する基本的な理論を学ぶことを目標とします。投資家は大切な資金を企業に提供する代わりにその投資に見合うリターンを期待します。本講義の大きなテーマは、リスクとリターンです。	学部2年 生以上	特になし	10名程度	2	後期週1回 水曜2時限 (11:10~12:40)	9月1日(水)	9月22日 (水)	1月26日(水) 2時限 (11:10~12:40)
31	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		フランス食文化 研究	french gastronomy	武末祐子	フランス料理は、2010年にユネスコ世界遺産の無形文化財に登録された。食の芸術(L'art du bien manger et du bien boire)といわれるフランス料理について書きた、食材と産地(テロワール)、味わう楽しみ、そして、農業園地で、美食のあるフランスは、食材の豊かさや食卓の美を併せ持つ。人はなぜ、美味しく食べようとするのか。なぜ人をもてなそうとするのか。ガストロノミーの歴史と現在を理解しながら、フランス・フランス語の国々や地中海の国々の食文化の多様性と食の知識を得ることを目指す。	学部2年 生以上	特になし	制限なし	2	後期週1回 金曜2時限 (10:40~12:10)	9月1日(水)	9月17日 (金)	積極的授業参加(感想の投稿)3割、授業での発表(加点10点)、レポート7割による総合評価とする。
32	西南学院 大学キ ンバス(予 定)		西洋文学A	European literatureA	武末祐子	2020年度に起こったコロナウイルスによるパンデミックは日常生活はもとより、医療、経済、政治、社会、文化にいたるあらゆる領域に世界的影響を与え、コロナ禍以前の状況に戻ること不可避とした。不確実性を抱えた社会の現状(ニューノーマル) (中野 剛志@Nikken) 時代、私たちはどう生きていけばよいのか。歴史に学ぶ。古代ギリシア・ローマ時代から自然は人間にとって常に脅威と畏怖の存在であった。海は危険に満ちていて、火山の噴火、地震、死に至る病、飢饉、不思議な現象、多様な人々、そのあふれる自然の脅威、超自然現象あるいは自然災害の恐怖をヨーロッパの人々はそのように言語化してきたのか。この授業では、人間に降りかかる様々な事象が描かれた文学作品を通してヨーロッパにおける自然と人間の関係性を理解することを目標とする。	学部1年 生以上	特になし	制限なし	2	前期週1回 火曜2時限 (11:10~12:40)	3月30日(水)	4月13日 (火)	毎回の積極的授業参加(=フォーラムへの投稿)3割、期末レポート7割の総合評価とする。
33			フランス語学概論A	Introduction to French Linguistics A	川島 浩一郎	フランス語学(フランス語を対象とする言語学)の基本概念を学ぶ授業です。口頭発表ができること、フランス語学の基本概念を説明できることが主な目標です。音声学、音韻論、形態論を中心に扱います。	3年次以 上	フランス語既習者であること。	若干名	2	【前期】 月曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	4月12日 (月)	7月30日(金) 5限(15:10~16:10)

34	フランス語学概論B	Introduction to French Linguistics B	川島 浩一郎	フランス語学(フランス語を対象とする言語学)の基本概念を学ぶ授業です。口頭発表ができること、フランス語学の基本概念を説明できることが主な目標です。意味の問題と統辞論を中心に扱います。	3年以上	フランス語既習者であること。	若干名	2	【後期】 月曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	9月20日 (月)	2022年1月26日(水) 5限(15:30~17:10)
35	ヨーロッパ言語文化概論A	Introduction to European Languages A	栗 雅志	ヨーロッパの言語文化多様性の諸相 ヨーロッパの多様な言語文化を知り、その歴史的、地理的背景を考察し、 音、文字、語彙、文法の違いがどこからくるのか、そしてそれがどう保存され、展開するのかを、近代から理解してゆきます。具体的には、民族の移動や宗教の影響、伝説の伝播、詩歌の編纂、翻訳などを例に概観します。とくに考察対象とするのは、ドイツ語とフランス語です。 ヨーロッパの言語文化を概観することを通じて、受講者自身にとつての他言語文化の位置づけを確認しましょう。	3年以上	特になし。	若干名	2	【前期】 木曜5限 (16:20~17:50)	4月1日	9月15日(木)	7月24日(土) 6限(16:30~17:30)
36	ヨーロッパ言語文化概論B	Introduction to European Languages B	栗 雅志	ライン川の言語文化 ライン川を主人公に据え、ドイツ語とフランス語の対立、影響、共存の関係を地理的、歴史的に考察します。その際、源流を持つスイス、河口域のネーデルラントも考察対象とします。 第一に、古代ローマとゲルマンの関係から、ドイツ語圏とフランス語圏に分かれてゆくさまを概観し、第二に、ライン川に遡る伝説の伝播を概観します。第三にアルザス(エルザス)地方を例に、近世から現代までの「言語戦争」のありさまを文学作品なども参照しながら検証します。そして最後にドイツ語とフランス語が共存する現在の状況について考えてゆきます。 ライン川を言語的に辿ることを通じて、他言語文化に受講者自身にとつての「橋」を渡してみよう。	3年以上	特になし。	若干名	2	【後期】 木曜5限 (16:20~17:50)	4月1日	9月30日 (木)	2022年1月19日(水) 6限(16:30~17:30)
37	英語音声学A	English Phonetics A	竹安 大	英語の音声上の特徴を音声学、音韻論における分析の枠組みを用いて明らかにする。日本人が英語を発音(または聞き取り)する上で特に注意すべき点を理解する。	2年以上	英語学概論、言語学概論等の科目を履修し、英語学の基礎的知識を有していることが望ましいが、必須ではない。	若干名	2	【前期】 月曜4限 (14:40~16:10)	4月1日	4月12日 (月)	7月27日(火) 3限(12:30~13:30)
38	英語音声学B	English Phonetics B	竹安 大	英語の音声上の特徴を音声学、音韻論における分析の枠組みを用いて明らかにする。日本人が英語を発音(または聞き取り)する上で特に注意すべき点を理解する。	2年以上	英語学概論、言語学概論等の科目を履修し、英語学の基礎的知識を有していることが望ましいが、必須ではない。	若干名	2	【後期】 月曜4限 (14:40~16:10)	4月1日	9月20日 (月)	2022年1月21日(金) 3限(12:30~13:30)
39	英語音声学A	English Phonetics A	山田 英二	この講義では、「一般音声学」の観点から音声学の基礎的事項を説明すると共に、英語という「個別言語」に光をあて、その音声的・音韻的特徴を明らかにしていきます。 前期は、英語音声学の基礎を確立することを主たる目標とします。	2年以上	英語学概論などを履修していることが望ましいが、必須ではない。	若干名	2	【前期】 火曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	4月13日 (火)	7月27日(火) 3限(12:30~13:30)
40	英語音声学B	English Phonetics B	山田 英二	この講義では、「一般音声学」の観点から音声学の基礎的事項を説明すると共に、英語という「個別言語」に光をあて、その音声的・音韻的特徴を明らかにしていきます。 各回の講義には、英語音声学の講義を行った後、音声学を中心に講義と実習を行います。ここでは、様々な音声現象が物理的に説明されると共に、音響分析装置およびフォルマントなどについての講義が行われます。更には、音響分析装置の使い方を学びます。	2年以上	英語学概論などを履修していることが望ましいが、必須ではない。	若干名	2	【後期】 火曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	9月21日 (火)	2022年1月21日(金) 3限(12:30~13:30)
41	ベンチャー起業論C	Entrepreneurship C	阿比留 正弘	最近、大学は卒業就職したけれど、2-3年で辞めてしまう人がとても多いと言われています。これは、学生が考える企業と企業の実態が異なり、双方のミスマッチが原因と思われる。「ベンチャー起業論」では、受講生全員にインターンシップを義務付け、学生時代に企業の経営者、社員・取引先などと交流することでミスマッチが起こらないように配慮しています。優秀な企業経営者は、生き生きと仕事を楽しく、常に目標を設定し、人生の目的を高く掲げて活動しています。そのような素晴らしい企業経営者の講義を聞き、企業にインターンシップに行くことで企業経営者の魅力的な生き様を間近に見てください。そして自分自身を発見して欲しいと思っています。この講義は、企業経営者の講義を聞く座学とインターンシップを基本とするプロジェクト活動の実学から成り立ちます。各回の講義については右の講義計画を見てください。プロジェクトでは、企業にインターンシップに行き企業研究を行い、成果報告として「企業対決」のイベントを持ちます。プロジェクトは、具体的には、茶道の干利休が張した「守・破・離」の考えで進めていきます。まず、「守」としてインターンシップ先の企業についての現状把握を行います。経営者の考え、社員、商品の魅力を徹底的に明らかにします。そして「破」では、現状分析で学生が発見する違和感・問題点の分析をおこないます。そして「離」で、オリジナルテーマをもって、自らのビジネスプランを構築します。この「ベンチャー起業論C」では守破までをカバーします。この講義はプロジェクト活動が全員に義務付けられております。講義時間だけでなく、多くの課外活動が必要となります。	1年以上	履修説明動画の確認 この講義を受講している学生は、YouTubeで「ベンチャー起業論2021」と「履修説明」で検索して出てくる動画を見たと、受講すること。 また、ベンチャー起業論のホームページもよく見ておいてください。 http://www.venture.econ1.fukuoka-u.ac.jp/ なお、本講義は2時間続きで行います(今年度は金曜2限・3限)。両時間とも出席すること。	若干名	4	【前期】週二回講 金曜2限 (10:40~12:10) 金曜3限 (13:00~14:30)	4月1日	4月16日 (金)	試験なし
42	ベンチャー起業論D	Entrepreneurship D	阿比留 正弘	最近、大学は卒業就職したけれど、2-3年で辞めてしまう人がとても多いと言われています。これは、学生が考える企業と企業の実態が異なり、双方のミスマッチが原因と思われる。「ベンチャー起業論」では、受講生全員にインターンシップを義務付け、学生時代に企業の経営者、社員・取引先などと交流することでミスマッチが起こらないように配慮しています。優秀な企業経営者は、生き生きと仕事を楽しく、常に目標を設定し、人生の目的を高く掲げて活動しています。そのような素晴らしい企業経営者の講義を聞き、企業にインターンシップに行くことで企業経営者の魅力的な生き様を間近に見てください。そして自分自身を発見して欲しいと思っています。この講義は、企業経営者の講義を聞く座学とインターンシップを基本とするプロジェクト活動の実学から成り立ちます。各回の講義については右の講義計画を見てください。プロジェクトでは、企業にインターンシップに行き企業研究を行い、成果報告として「企業対決」のイベントを持ちます。プロジェクトは、具体的には、茶道の干利休が張した「守・破・離」の考えで進めていきます。まず、「守」としてインターンシップ先の企業についての現状把握を行います。経営者の考え、社員、商品の魅力を徹底的に明らかにします。そして「破」では、現状分析で学生が発見する違和感・問題点の分析をおこないます。そして「離」で、オリジナルテーマをもって、自らのビジネスプランを構築します。この「ベンチャー起業論D」では守破までをカバーします。この講義はプロジェクト活動が全員に義務付けられております。講義時間だけでなく、多くの課外活動が必要となります。	1年以上	履修説明動画の確認 この講義を受講している学生は、YouTubeで「ベンチャー起業論2021」と「履修説明」で検索して出てくる動画を見たと、受講すること。 また、ベンチャー起業論のホームページもよく見ておいてください。 http://www.venture.econ1.fukuoka-u.ac.jp/ なお、本講義は2時間続きで行います(今年度は金曜2限・3限)。両時間とも出席すること。 この講義は、福岡市内の経営者からとても注目を浴びております。地元経営者の講義を聴講したいという声に答えるため、大岡生命の寄付講座として一部の講義を講演会として行い、そこに学生も参加する可能性があります。なお、該当する授業には以下の授業計画の中で※をつけてあります。	若干名	4	【後期】週二回講 金曜2限 (10:40~12:10) 金曜3限 (13:00~14:30)	4月1日	9月24日 (金)	試験なし
43	マクロ経済分析	Intermediate Macroeconomics	高瀬 光夫	本講の目的は、既にマクロ経済学を学んだ人を対象に、政策事例を通じて経済学が現実どのように適用されているかを学び、経済を見る視野を広げることにある。本講では特に経済成長、景気、財政、金融、国際経済の5つの分野について、幅広く問題を取り上げます。最新の海外の研究成果を紹介しながら、日本国内ではまだ知られていない新しい視点での分析例を学ぶことができる。論文やレポート、さらには新しい研究テーマを見出すようとする人に特に役立つ。	3年以上	入門レベルのマクロ経済学の知識を持っていることを前提に授業を行う。	若干名	4	【後期】週二回講 火曜5限 (16:20~17:50) 木曜5限 (13:00~14:30)	4月1日	9月21日 (火)	2022年1月26日(水) 4限(15:50~14:50)
44	社会思想史	History of Social Thought	武井 敬亮	「近代」と言われる時代は、様々な分野で大きな変化が生じた時代です。この変化の過程で、現代にも通じる価値観の転換が起こりました。そこで、この授業では、各時代の代表的な人物(ホブズ、ロック、スミス等)の思想に言及しながら、当時の政治的・経済的現象及びそれらに関連した議論(自由論、所有論、奢侈論等)を取り上げ、現代的な価値観がどのように生まれてきたのかを学びます。そして、そのような価値観にもとづく現代社会の在り方や私たちが置かれている諸問題について考察を行います。	3年以上	特になし。	若干名	4	【後期】週二回講 木曜4限 (14:40~16:10) 木曜5限 (16:20~17:50)	4月1日	9月30日 (木)	2022年1月19日(水) 3限(12:30~13:30)

45	人間関係論A	Human Relations A	渡邊 洋一	今日の社会では人間関係の重要性は十分に認識され、カウンセリングやコーチングなどの実務が多くの企業や組織において必要不可欠なものとなっています。この講義は人間関係論を学史的観点ではなく、企業経営者を中心とした実務家の方々によるオムニバス形式により、現場に則した観点から展開していきます。	3年以上	特になし。	若干名	2	【前期】水曜2限(10:40~12:10)	4月1日	4月14日(水)	試験なし
46	人間関係論B	Human Relations B	渡邊 洋一	人的資源を適切な投資と育成によってその価値を最大限に高めることは、今日の企業や組織において必要不可欠なものとなっています。この講義は人的資源管理を学史的観点ではなく、企業経営者を中心とした実務家の方々によるオムニバス形式により、現場に則した観点から展開していきます。	3年以上	特になし。	若干名	2	【後期】水曜2限(10:40~12:10)	4月1日	9月22日(水)	試験なし
47	貿易商務論A	Foreign Trade Management A	岡 陽子	国際貿易という言葉自体の意味は、単純に「商取引」が「国際間で行われる」ということですが、この「国際間」というのが様々な制約や複雑さを生み、軋轢を起し、環境問題や政治問題にまで発展するなど、ビジネスを遂行していく上でリスクを増加させるにもかかわらず貿易を遂行するには経済は成り立たないところまで来ています。この講義では、国際貿易の始まりから国際貿易の果たしてきた社会や環境、労働形態への様々な作用、加えて各国の貿易政策、企業の意思、消費者にとっての優劣、そして実際に貿易を動かしている実務レベルへの影響など多数のステークホルダーの視点から、国際貿易がもたらす様々な影響を学びます。その上で国際貿易から見えるグローバル化の先にある、今後の国際ビジネスへの展望が各自持てるよう各国の政策や実際のケースを分析しながら講義を進めます。	2年以上	特になし。	若干名	2	【前期】月曜3限(13:00~14:30)	4月1日	4月12日(月)	7月28日(水)5限(15:10~16:10)
48	貿易商務論B	Foreign Trade Management B	岡 陽子	国際貿易という言葉自体の意味は、単純に「商取引」が「国際間で行われる」ということですが、この「国際間」というのが様々な制約や複雑さを生み、軋轢を起し、環境問題や政治問題にまで発展するなど、ビジネスを遂行していく上でリスクを増加させるにもかかわらず貿易を遂行するには経済は成り立たないところまで来ています。この講義では、国際貿易の始まりから国際貿易の果たしてきた社会や環境、労働形態への様々な作用、加えて各国の貿易政策、企業の意思、消費者にとっての優劣、そして実際に貿易を動かしている実務レベルへの影響など多数のステークホルダーの視点から、国際貿易がもたらす様々な影響を学びます。その上で国際貿易から見えるグローバル化の先にある、今後の国際ビジネスへの展望が各自持てるよう各国の政策や実際のケースを分析しながら講義を進めます。	2年以上	特になし。	若干名	2	【後期】月曜3限(13:00~14:30)	4月1日	9月20日(月)	2022年1月24日(月)5限(15:10~16:10)
49	経営分析論	Financial Statements Analysis	飛田 努	本講義は、企業の1年間の経営成績を表す財務諸表(貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書)を中心とした会計情報を読み解くことを通じて、企業経営の現状を把握し、経営者としての意思決定を行うための基礎となることを目的とします。具体的には(1)経営戦略を中心とした「企業経営の仕組み」と(2)企業経営を貨幣的価値として表現した「会計情報を読み解く」という2点を学びます。そのため、講義は2回あるいは3回で1つのテーマを取り上げます。初めの1回で会計情報を用いて経営分析するための計算式への理解、次の1回ないしは2回でケーススタディやVRを通じて計算式から企業経営の仕組みをどう読み取ることができるのかについて講義します。これにより、企業経営の良し悪しを判断するための基本的な方法を学びます。	2年以上	会計や簿記を学んだことがある人であることが望ましいが、財務諸表の読み方そのものは難しくないので、将来企業経営に携わろうと思っている人は積極的に受講して欲しい。	若干名	2	【前期】月曜3限(13:00~14:30)	4月1日	9月12日(月)	7月30日(金)4限(13:50~14:50)
50	意思決定会計論	Accounting for Decision Making	飛田 努	本講義は「経営分析論」で学んだ知識を基礎として、企業の意思決定において会計情報(特に管理会計情報)がいかに活用されているのかについて学びます。具体的には(1)企業経営の仕組みへの理解、(2)会計情報を読み解くという「経営分析論」の学習内容に加えて、(3)企業経営者や管理者が意思決定を行う際に必要となる会計情報を事業や事業部の経費・売上・設備投資、資金繰り(キャッシュ・フロー分析)という3つの側面を中心に講義します。また、これらの考え方は企業価値評価を行うにも用いられるので、基礎的な企業価値評価に関する理論についても講義します。講義は2回あるいは3回で1つのテーマを取り上げます。①初めの1回で会計情報を用いて経営分析するための計算式への理解、②次の1回ないし2回でケーススタディやVRを通じて計算式から企業経営の仕組みをどう読み取ることができるのかについて講義します。③これにより、企業経営の良し悪しを判断するための基本的な方法を学びます。	2年以上	会計や簿記を学んだことがある人であることが望ましいが、財務諸表の読み方そのものは難しくないので、将来企業経営に携わろうと思っている人は積極的に受講して欲しい。	若干名	2	【後期】月曜3限(13:00~14:30)	4月1日	9月20日(月)	2022年1月28日(水)4限(13:50~14:50)
51	会計学総論	Essential Accounting	長束 航	会計学を学ぶにあたって、その前提となる内容を制度と理論の両面から学ぶ。	2年以上	簿記3級程度の知識がある学生が望ましい。	若干名	2	【後期】水曜3限(13:00~14:30)	4月1日	9月22日(水)	2022年1月25日(火)3限(12:30~13:30)
52	クリエイティブ社会論	Creative Society	藤野 真	ゲーム業界には現代のビジネス的な課題の多くが詰まっています。たとえば、エンターテインメント製品であることや多人数での創造的活動であること、技術志向の製品であることなどです。この業界では、このような特徴のあるゲームビジネスの構造と、取り巻く環境についてマクロな視点からゲームを創る側の集団としてのマインドセットという点から学びます。この学びを通じて、主に企業家として、製品開発やマネジメントについて考えることを目的とします。	1年以上	特になし。	若干名	2	【後期】金曜4限(14:40~16:10)	4月1日	9月24日(金)	2022年1月20日(木)4限(13:50~14:50)
53	特別講義D(クリエイティブマネジメント論)	Optional and Occasional Course on Specific Topics D	和田 剛明	近年、マンガ、アニメ、ゲームなどのコンテンツの集積が認められ、産業として成長している。クリエイティブへの注目が集まる一方で、クリエイティブなコンテンツを生み出すための製品開発には様々な困難が伴い、ビジネスとして成功させるためには経営学的なマネジメントが不可欠である。本講義はシナリオ、映像、音楽などのクリエイティブな制作物を統合した製品であり、多額の制作資金と人員が必要となるため多くのマネジメント上の課題を抱えているゲーム産業(家庭用ゲームおよびモバイルゲーム)を事例として、クリエイティブなコンテンツの開発・収益化に関する各種マネジメントについて解説する。	2年以上	特になし。	若干名	2	【後期】金曜5限(16:20~17:50)	4月1日	9月24日(金)	2022年1月20日(木)4限(13:50~14:50)
54	基礎防災学	Basic disaster prevention	重松 幹二	主に災害発生メカニズムと被害軽減のための工学技術を中心とした講義を行う。これは自然災害に限らず、人災への対応も含まれる。講師は学内外から多岐に達しており、学内の専門性にとらわれず、防災に関する広い知識を得ることと期待がある。この講義で防災に関する科学的・工学的基礎知識を学ぶことにより、災害発生時における被害を軽減・被害を最小にする準備と対応方法を修得する。特に、自然災害の発生メカニズムや被害予測、災害発生時に必要となる社会システムや被害を軽減する技術、産業活動における安全性配慮の必要性を学び、一生涯役に立つ工学基礎を身に付けることができる。講義は各学部の教員および福岡市役所・消防局・各種報道機関を講師としたオムニバス形式で進められる。詳しくはシラバスを参照すること。	3年以上	毎回ポータルを通じて小テストの回答を回収する。	若干名	2	【前期】月曜5限(16:20~17:50)	4月1日	9月12日(月)	7月24日(土)6限(16:30~17:30)
55	現代生きる(災害から自分や家族を守る)	Living in Our Time	重松 幹二	この講義では、防災に関する基礎知識を学ぶことにより、災害から自分や家族を守る術、被害を最小にする準備と対応方法を修得する。特に、「自助(自分や家族の命はまず自分たちで守らなければならない)・共助(被災した近所の人を助けることの重要性)・公助(公的機関による救援行動の大災害時における脆弱性)の考え方を軸とし、各ドメインを理解することで、一生涯役に立つ教養を身に付けることができる。講義は各学部の教員および福岡市役所・消防局・各種報道機関を講師としたオムニバス形式で進められる。文系理系両側面から防災に関する知識を広く得ることに特徴がある。詳しくはシラバスを参照すること。	1年以上	毎回ポータルを通じて小テストの回答を回収する。	若干名	2	【後期】水曜5限(16:20~17:50)	4月1日	9月22日(水)	2022年1月24日(月)5限(15:10~16:10)
56	地球環境工学	Global Environmental Engineering	鈴木 慎也	1800年代以降、「環境」は科学界ばかりか政治・メディアの世界でも大きな話題になっている。だからこそ、現象を科学的に理解・説明することが重要である。中でも化学反応の絡む現象として、環境と化学の関わり合いの理解が欠かせない。自然界の壮大な営みがどのように進み、太古からどう進んできたのかを初め、人間が自然をどれだけ乱しているのかが分かる。本講義では色々な環境問題を考える前に、我々を取り巻く環境・水圏・地圏・生物圏とは、どのような物質がどこにどれだけあるのかを、科学的・化学的な視点で学習する。なお、大半の学生にとって化学はほぼ初學者に等しいことを前提に、ごく基本的な内容も含めて解説を加える予定である。	2年以上	特になし。	若干名	2	【後期】月曜2限(10:40~12:10)	4月1日	9月20日(月)	未定
57	廃棄物資源循環工学	Materialcycle and waste management	鈴木 慎也	環境工学を学ぶにあたっては、知識を身につけるだけでなく、その「知識の使い方」を身につけてこそ、目的に到達したことになる。とりわけ、固体物質としての廃棄物の処理だけでなく、燃焼時に発生する排ガス・気体処理、埋立処分における浸出水・溶出液・処理など、広範な知識と技術が求められる廃棄物資源循環の分野においては必要不可欠なものである。本講義においては、各種汚染物質が環境に与える影響を学びつつ、それを工学的にどう制御するかを中心に学ぶ。	3年以上	特になし。	若干名	2	【後期】金曜3限(13:00~14:30)	4月1日	9月24日(金)	未定
58	電気磁気学	Electromagnetic Theory	名倉 徹	電気磁気学は電子情報工学の重要な基礎科目の一つで、半導体工学や通信工学などを理解するために必要な科目である。1年次の「基礎電気磁気学」にて学習した電場・電界と電位、静電容量、誘電体、磁界・電磁誘導の法則などについて、実用的応用へと発展させるためにさらに数学・解析的に取り扱い、最終的にはマクスウェル方程式を導出する。	2年以上	特になし。	若干名	2	【前期】火曜4限(14:40~16:10)	4月1日	9月13日(火)	未定
59	基礎電気磁気学	Basic Electromagnetic Theory	名倉 徹	電気磁気学は電気回路・電子回路とともに電気系の基本的な重要科目であり、電気・電子機器の動作原理を理解するのに必須の科目である。電荷、電場と電位、静電容量、誘電体、電流と磁界、電磁誘導の法則などについて学習する。複雑な数式の利用をなるべく避けながら、物理現象を理解することに主眼を置く。マクスウェル方程式は2年次前半の「電気磁気学」にて学習する。	1年以上	特になし。	若干名	2	【後期】水曜3限(13:00~14:30)	4月1日	9月30日(木)	未定
60	半導体デバイス	Semiconductor Devices	名倉 徹	スマホを始めとする電子機器において、その中心的役割を果たしているのが集積回路であり、その回路はシリコンを用いた半導体素子によって構成されている。本講義では、半導体の内部の様子を理解するとともに、簡単な回路設計についても触れる。	3年以上	PN接合について、基礎的な知識がある方が望ましい。	若干名	2	【前期】水曜1限(9:00~10:30)	4月1日	9月14日(水)	未定
61	半導体工学	Semiconductor Technology	名倉 徹	スマホを始めとする電子機器において、その中心的役割を果たしているのが集積回路であり、その回路はシリコンを用いた半導体素子によって構成されている。本講義では、半導体の基本物性を理解し、最も基本的な半導体素子であるPN接合ダイオードおよびMOSトランジスタの動作原理を理解することを目的とする。	2年以上	特になし。	若干名	2	【後期】金曜2限(10:40~12:10)	4月1日	9月24日(金)	未定
62	輸送現象	Transport Phenomena	松隈 洋介	物質、熱、運動量が移動する現象を輸送現象と呼び、これら3つの移動速度は輸送係数と推進力の積で表される統一の現象方程式で記述できる。また、それぞれに対応した輸送係数が、拡散係数、熱伝導率および粘性係数である。このように、物質、熱、運動量の移動を統一的に考察する。	3年以上	流体の運動や熱の移動に興味があることが望ましい。	若干名	2	【後期】金曜2限(10:40~12:10)	4月1日	9月24日(金)	未定

63	測量学	Surveying	渡辺 浩	まちづくりの第一歩は地形を知ることです。また、新しい何かを作るためには、設計図どおりの自印を地形上に正確に置いていく必要があります。このように、地形を対象に距離や高さ、角度、位置を図る技術を測量と言います。この講義では、古代からの測量の歴史をもとに「地形を測る」との基本と、様々な測量法、どうして測れない誤差を適切に処理してよい結果を得る方法について学習します。	1年次以上	関数電卓が必要。	3名	2	【前期】 火曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	4月13日(火)	未定
64	スポーツ栄養学	Sports Nutrition	川中 健太郎	同様な運動を行っても、その効果は食事・栄養状態によって異なる。したがって、スポーツ選手がトレーニングを効果的にし、コンディションを良好に保つためには適切な食事・栄養摂取が重要である。本講義では、スポーツ選手の競技力向上とコンディション調整の領域に必要なスポーツ栄養に関する基礎的知識と科学的理論を学習する。授業は配布資料に基づいた講義形式であるが、一部演習も含む。	2年次以上	特になし。	10名以内	2	【前期】 月曜1限 (9:00~10:30) あるいは 月曜4限 (14:40~16:10) あるいは 火曜2限 (10:40~12:10) あるいは 火曜3限 (13:00~14:30)	4月1日	4月12日(月)	7月23日(金) 4限(13:50~14:50)
65	西洋教育史	History of Education in Europe	勝山 吉章	西洋の教育の歴史を古代ギリシャ・ローマから語っていき、教育というものの源流を探っていく。	1年次以上	西洋史について、高校の教科書を読んでおくこと。	若干名	2	【前期】 木曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	4月15日(木)	7月31日(土) 6限(16:30~17:30)
66	日本教育史	Educational History of Japan	勝山 吉章	日本の教育の歴史を、江戸時代後期から現代まで語ることに伴って、日本の教育の成り立ちについて知る。	1年次以上	日本史について、高校の教科書を読んでおくこと。	若干名	2	【後期】 木曜2限 (10:40~12:10)	4月1日	9月30日(木)	2022年1月27日(金) 6限(16:30~17:30)
67	教育の原理・課程論	Principles and Curricula of Education	勝山 吉章	授業はどういう原理・原則で構成されているかを把握する。	1年次以上	特になし。	若干名	2	【後期】 火曜5限 (16:20~17:50)	4月1日	9月21日(火)	2022年1月26日(水) 6限(16:30~17:30)
68	アジアの文学B (韓国・朝鮮の文学を知る)	Asian Literature B	柳 忠照	みなさんは(韓流)という言葉をよく耳にしているかもしれませんが、最近、日本では、K-popやドラマや映画など、さまざまな韓国のコンテンツが紹介され、みなさんにも親しみのあるものになっていると思います。これまでの記憶と経験を思い出しながら、韓国・朝鮮の文学と映画の内容を確認し、韓国・朝鮮文化を学ぶ新しい機会を設けてみたいと思います。この授業では、日本の隣の国である韓国・朝鮮の文学に関する基礎的な知識と理解を得ることを目指します。そして、各時期の主要な韓国・朝鮮文学テキストと関連映画に触れてみる(原文や日本語訳や映画の鑑賞など)を通じて、朝鮮半島に生きた人々の社会や歴史の変化を理解し、現在の韓国・朝鮮の歴史・社会・文化の特徴に対する自分なりの見解を持つこととなります。	1年次以上	韓国・朝鮮語を学習していない方も受講可能。	10名以内	2	【後期】 木曜1限 (9:00~10:30)	4月1日	9月30日(木)	2022年1月21日(金) 4限(13:50~14:50)
69	物理学入門(映像とデータサイエンスの基礎により学ぶ物理学I)	Introductory Physics I	寺田 貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、アルキメデスの原理、浮力、力の分解、真空、水圧、この原理、ニュートンの運動の第一法則、放物運動、運動量保存則、力学的エネルギー保存則などである。	1年次以上	特になし。	若干名	2	【前期】 火曜5限 (14:40~16:10)	4月1日	4月13日(火)	7月26日(月) 1限(9:30~10:30)
70	物理の世界(映像とデータサイエンスの基礎により学ぶ物理学II)	General Physics	寺田 貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、音速、レダスの原理、摩擦、力、熱と気体の性質、太陽エネルギー、物質の溶解度、静電気、電池、電磁石、電気の発生などである。	1年次以上	特になし。	若干名	2	【後期】 火曜4限 (14:40~16:10)	4月1日	4月21日(火)	2022年1月20日(木) 1限(9:30~10:31)
71	アートワールド	Introduction to Art	蒲池 昌江	本科目は一般教養科目に位置づけられ、美術の領域における知識を幅広く身につけるとともに、美術作品の鑑賞において言語表現能力やコミュニケーション能力を高めながら美的思考を養うことをねらいとしている。アート(美術)は、現代社会を文化的で豊かに生きる上で欠かせないものである。アート作品の持つ多様な表現は、私たちに多様な解釈や新たな価値観をもたらす。社会を生きるための広範な視野を拓かせてくれるものである。本講義では、西洋美術、日本美術、アジア美術における表現の歴史や社会的背景を概観し、個々の作品についてディスカッション形式で読み解いていく。さらに、それらの表現を通して現代社会においてアートがなす役割や可能性について考察する。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	後学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月13日	■小レポート:30% ■作品研究:30% ■最終レポート:40%
72	音楽の世界	World of Music	原田 大志	教養科目に位置づけられ、世界の様々な音楽と、その音楽が引き起こす現象が、人間の営みとどのように結びついているかを考えることをねらいとしている。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	前学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月7日	-試験:40% -授業への積極的評価: 20% -レポート:40% -授業期間に試験実施
73	体の科学	Body Science	竹嶋 美夏子	ヒトの体のしくみと働きを学び、日常生活の中で健康への関心を高めることを目標とする。私たちの体は、生きていくために食物摂取、消化、吸収、血液の循環、呼吸、免疫運動、成長、生殖、老廃物排泄の排出など、いろいろな働きを行っている。これらが正常に働くことができなくなると様々な疾病を引き起こすことになる。そこで、本講義では正常なヒトの体のしくみと働きについて学ぶ。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	前学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月7日	全て授業時に評価する 為、期末試験は実施しません。
74	色彩の科学	Color Science	手嶋 康則	楽しく色彩学を学び、衣食住の生活の場面で色を上手に活用できるようになることを目標としている。色彩の基礎知識を習得し、色の役割や効果について論理的に説明すること、衣食住全般の色の効果を身につけること、文部科学省後援「色彩検定2級」合格者と同程度の色彩の知識を身につけることを到達目標とする。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	前学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月12日	授業期間に試験実施
75	食の科学	Food Science	水元 芳	本科目は、自然科学系の学部共通教養科目として位置づけられている。「食」を科学的な視点から捉え、食事を通して健康を維持・増進することを学び、健康的な食生活の定着および自己管理能力を養うことを目標とする。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	前学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月12日	授業への積極的参加: 40% 学期中の課題提出: 30% 学期末レポート:30%
76	食の博多学	Hakata Food Studies	松隈 美紀	自身が生活をしている博多(広い意味での福岡市内)で食べられている食材のふるさと、味、郷土料理などの歴史や高貴の産地、作り方や分量などを知らずに食の心に対する考え方、感謝の気持ち、他者の食の知識や大切に使う心を養う科目として位置づけ、博多の食の魅力や自分の言葉で人に伝えられるようになることをねらいとしている。パワーポイントと資料を使って博多の食文化、郷土料理を季節ごとに説明し、博多の食文化、郷土料理について深く理解してもらう。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	前学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月12日	授業中の態度を評価 10% 毎回の提出レポート点を 評価 60% 小テスト(理解度確認) :30%
77	知的財産論	Intellectual Property Studies	原 謙一	著作権や特許権をはじめとした各種の知的財産権は権利である。この権利は何について、どのような場合に、誰に、どのような権利を発生させるのだろうか。そして、知的財産権という権利を取った者は、その権利を取得したことによって、どのようなことをする力を得るのか(特に、権利が侵害された場合にどのような対処が可能になるのか)。これらの点について、本講義では、身近な例を取り上げ、検討しながら学んでいく。なお、講義では資料を配布することで各論の内容を説明し、授業後に課題を作成して提出する必要がある。また、様々な事例や調査資料なども多く参照するので、毎回、必ず指定教科書を手元に置いて参照すること。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	後学期 木曜5時限 (16:40~18:10) 90分×15回	4月3日	9月16日	①授業への出席状況、 参加率及び課題などへの 取り組み、70%のほかに ②最終試験(あるいは 最終課題) :30%。試験 は授業期間に実施する。
78	マスコミ論	Mass Communication Studies	小出 浩樹	かつての新聞、テレビの時代から、現代は「デジタルネイティブ」や「Z世代」と呼ばれる若者が自ら情報発信する時代を迎えた。本科目は高度な情報社会の中で、リテラシー(読解力)を磨くことを狙いとする。到達目標は、学生が創造的な「創」を確立し、社会で自己表現できるように置く。※対面+WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	後学期 木曜5時限 (16:40~18:10) 90分×15回	4月3日	9月16日	レポート80%、授業への 積極的参加・発言20%
79	アジア食文化事情	Asian food culture	徳井 孝孝 他	日本が位置するアジアは東は太平洋、西は中近東まで広大な領域を占め、多様な気候、風土を呈している。そこに点在するアジア諸国は多様な食文化を育んでおり、これらの異なる食文化事情を通して21世紀の食の課題を考察することをねらいとする。さらに、今から世界三大料理であるメキシコの食文化を追加し、アジアを含む世界的視野で食文化を考察することをねらいとする。アジアの食文化とメキシコの食文化を、社会的発展状況や自然環境などの視点、食料、食料、食料、食料事情などの視点、および栄養、健康、食料、食料などの視点から検討し、世界諸国の食文化事情を考察する。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	後学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月15日	各講義でレポート課題を出すので、締め切り日までに提出すること。レポートは最終試験に 提出する。
80	環境論	Environmental Studies	向坂 幸雄	大学卒の社会人として必要な環境に関する基礎知識と考え方を身に付けることを目指している。私たちが暮らす地球の環境は、人類の文明の発展とそれによる経済活動により、これまでの他の生物による環境相互作用では見られなかった速度で大きく変えられている。交通の発達や、経済のグローバル化により、地球規模で環境問題を考える意味は年々大きくなってきている。私たちの気候変動が地球の反対側の生き物や人々の暮らしに大きな影響を与えることも往々にして起きている。また、地球規模の環境の応答には時間がかかることが多く、問題が顕在化した時には手遅れとなることも少なくない。環境に対する適切な行動は私たちの子孫に対して十分な環境を残すためにも必要である。本科目では、これらの枠組みと現状を理解するとともに、幅広い視点から環境を議論し、科学的視点から受講者自身が意見をもち行動できるようになることを目指す。※WEB授業	1年次以上	Office365の各種ツールを使うことから、MSアカウントの認証など、基本的な環境を整えておくこと。	若干名	2	後学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月15日	100%期末試験により評価を行う。試験は授業期間に実施。
81	国際文化論	International Culture	中村 芳生	幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する科目として位置づけられています。グローバル化が急速に進展し、国内でも普段の生活で外国人と接する機会が多くなっている現在、日本と諸外国の文化の違い、世界の日本について考える時間があり、「日本人としての自覚」について、国際的な観点から考えることを狙いとしています。私たちの生活に身近なことから文化というものを多面的に学んでいきます。また、グローバル化の中の日本についても考察していきます。近い将来に世界で活躍できる人材として、日本人であることを再確認しつつ、海外の文化について、宗教的背景も踏まえて学んでいきます。※WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	後学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月13日	期末テストは行いません。 授業中に課題を設定してレポートを提出してもらい、それを期末試験に 変えます。
82	博多学	Hakata's History and Culture	福岡 裕爾	博多を目指してやってきた人々が行き交うなかで生じた多様な出来事について百物語的に学んでいく。周辺地域にとって博多はどのように捉えられていたか、またやって来た人々を博多はどのように見ていたかを紹介し、それと日本史の「都市と文化」の概念や社会科学の文化の変遷(家畜・伝播)などの理論を使いながら、ウツとトから都市博多の特色を分析していく。その際用いる各種概念や理論については、平易にわかりやすく解説することを心がけていく。何気ない日常を意識化することによって、今まで気づかずに通り過ぎた風景や人の身振りなどが気になり、街中で聞こえる音が音楽として聞こえるようになる。博多の年中行事・祭礼・人生儀礼などを、おもしろく心に染み入るように解説する。※対面+WEB授業	1年次以上	特になし。	若干名	2	後学期 木曜5時限 (16:40~18:10) 90分×15回	4月3日	9月16日	試験は実施しない。予習・復習の進捗状況や講義中に提出したディスカッション(60%)とレポート(40%)を重視し、課題レポートの作成を40~45%程度を目安として総合的に評価する。
83	サービス・マーケティング	Service Marketing	浅岡 由美	サービスは「ビジネス」として、顧客(個人、および組織)に価値、満足、利益を創造し、提供する活動と定義できる。顧客に「利便性、快適性、代償性」などの価値を提供し、顧客の満足を得ることができるといえる。サービスに関する理論を理解し実践することを授業のテーマとねらいとする。※WEB授業	2年次以上	特になし。	若干名	2	前学期 火曜3時限 (11:20~14:50) 90分×15回	4月3日	4月13日	①Webを用いた試験 80% ②課題テスト 30% ③課題 10% 授業期間に実施。

84			食品流通論	Food Distribution	中川 隆	本科目は、農と食をつなぐフードシステムにおける問題点や課題を明確にできる思考力を養うことをねらいとしている。 本講義の概要は、食品流通(フードマーケティング)理論の習得を目指すことである。具体的には、食品流通の標準的テキストや国内外の実態調査で得た知見をもとに作成したハイポイント資料をベースにした教材を使い、食品流通に関わる経営・マーケティング・流通の実態と理論を学ぶことで、食品流通に係る興味・関心をより高める。※対面+WEB授業	2年次以上	特になし	若干名	2	前学期 火曜2時間 (10:40~12:10) 90分×15回	4月3日	4月13日	提示する課題へのレポート内容を評価する。
85			マーケティング・マネジメント	Marketing Management	片山 富弘	マーケティングの基礎と発展をつなぐ位置づけである。マネジリアル・マーケティングの視点からマーケティングの現場を学ぶことで、マーケティングとしての実社会を見る眼を深め、マーケティングにおけるマネジメントの諸問題について学習するとともに、差異の概念をもとに深めていく。 講義を中心とするが、必要に応じて、映像や簡易なケースを通じてのQ&Aによる双方向授業を行う。商学概論で学習したことをマーケティングの知識としてさらに深めるためのキーワードとして、ドメイン、STP(セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング)、差異化戦略、市場地位別戦略、マーケティング・ミックス、マーケティング監査などについて学習していく。※対面授業	2年次以上	特になし	若干名	2	前学期 月曜3時間 (13:20~14:50) 90分×15回	4月3日	4月12日	中間テスト(50点)と期末テスト(50点)の合計100点で総合評価。授業期間に試験実施。
86			ソーシャル・マーケティング	Social Marketing	明神 実枝	本科目はマーケティングの応用科目として位置付けられます。「社会の中に新しい動きを創り出すマーケティング・デザインの発想法」を身につけることが狙いです。授業では、事例を手がかりに、マーケティング・デザインの発想法(=概念/理論)を学びます。社会や消費者のニーズに耳を傾け、その課題解決方法をデザインし、社会の中に新しい流れを創り出す。これがマーケティングが「デザイン」です。具体的に、どのようなプロセスなのか、成功事例の歩みを紐解いてみましょう。※WEB授業	2年次以上	特になし	若干名	2	後学期 月曜2時間 (10:40~12:10) 90分×15回	4月3日	9月13日	■事前・事後学習:60点 ■理解度チェック:10点 ■レポート:30点
87			物流概論	Basic Logistics	朴 展材	我々の日々の生活を支える物流および物流業界の実態、課題、今後の方向性をテーマとする。経済活動の重要な要素である物流の実態について、グローバル化・IT化や環境問題といった今日の社会・経済状況を踏まえながら理解できることを目指す。 物流に関する基本知識と理論を習得した上で、それらが現代の企業活動にどのように活用されているかをロジスティクスの視点で説明できることを到達目標とする。※対面授業	1年次以上	特になし	若干名	2	後学期 金曜2時間 (10:40~12:10) 90分×15回 or 後学期 金曜3時間 (13:20~14:50) 90分×15回	4月3日	9月17日	中間・期末試験40%と課題レポート60%の成績を基本的な評価基準とし、学習意欲及び授業への貢献度を加算点として評価する。授業期間に試験実施。
88			食料経済学	Food Economics	薬師寺 哲郎	食料はどのような仕組みで生産され、どのような流通過程を経て私たちの手もとに届いているかについて、フードシステムという観点から講義する。フードシステムとは、食料が最終的に消費者に提供されるまでの流れの中で、関係するすべての経済主体の動きを総合的にとらえたものである。食料の流れについて生産サイドの川上から消費サイドの川下までの流れについて解説する。その食料の流れの中で、食料生産の原点である農業生産の仕組みだけでなく、食品製造業、食品流通業(食品卸売業、食品小売業)、食品サービス業(外食産業、中食産業)などの食品産業の仕組みについて解説する。さらに今日の食料の供給は世界的な食料の貿易によって支えられていることを解説する。※WEB授業	1年次以上	特になし	若干名	2	前学期 火曜4時間 (15:00~16:30) 90分×15回	4月3日	4月13日	レポート:70% 授業への積極的参加:30% レポートによる評価なので過再試験は実施しない。
89	福岡歯科大学	福岡歯科大学地	福岡の歴史と文化探訪	設定なし	地域連携センター 教授 永井 淳	この科目は我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域について考え、知ることを目的とした講義である。福岡の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から考え、学んでいきたい。この講義で学んだことを通じて、現在から将来にわたって自分を取り巻く地域や社会とどのように関わり、貢献出来るのかについて考察する。	1年次以上	特になし	若干名(各大学10人以内)	1	・講義80分×3回 4/16/5/7/6/7 ・現地見学土曜×4回 (4/24は必ず出席すること。加えて、5/8、15、29の3回中2回以上は必ず出席すること)	4月9日	4月16日	試験なし
90	共同開講科目	福岡歯科大学	博多学	-	(九州大学) 東光 弘和 教授 遠城 明雄 准教授 (西南学院大学) 藤永 豪 教授 伊 芝恵(ユン ジェ) 准教授 (福岡大学) 渡辺 亮一 教授 (中村学園大学) 松原 美紀 教授	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及などの「歴史」、食文化、外来文化などの「文化」の面から考察する。	学部1年次以上	特になし ※博多学の現地見学においては、見学期間により多少の人数調整を行う可能性があります。	上限150人(各大学30人を目安とする)	1	集中講義 (約13時間講義+現地見学)	所属大学の教務担当窓口にお問い合わせください。	【現地見学】 4月24日 5月8日 5月15日 5月29日 のいずれか1日 【集中講義】 8月17日 8月18日 8月19日 の3日間	試験なし